



北橋市長(左)にボート形の特大せっけんを贈呈する森田社長

“競艇”せっけん贈呈

「シャボン玉」社長ら、市に

シャボン玉石けん株式会社(本社・若松区)の森田隼人社長らが、市役所を訪れ、競艇用ボートをかたどった特大の無添加せっけん3個を北橋健治市長に贈呈した。市は若松競艇場と市役所で展示する。

ボート形せっけんは高さ15センチ、長さ30センチ、重さ2・18キロで、市販の浴用せっけんの22個分。ボートの上に同競艇場のマスコット「かっはくん」が乗る。西日本工業大の野中智博教授に依頼して5カ月かけて製作した。

野中教授は「最初、金型で作ろうと試みたが、うまくいかなかった。大きな塊から削り出すことでようやくできた」という。森田社長は「せっけんを通して北九州市が環境に優しい街であることを競艇ファンにPRできれば」と話す。

【塩満温】